

平成11年3月実施

法人企業動向調査報告

Business and Investment

Survey of Incorporated Enterprises

平成11年4月

經濟企画庁調査局

Research Bureau

Economic Planning Agency

目 次

調査要領	1
1 . 景気見通し	4
(1) 国内景気 (全産業)	4
(2) 業界景気 (全産業)	7
2 . 需要・価格関連見通し	9
(1) 内外需要 (製造業)	9
(2) 在庫水準 (製造業)	11
(3) 価格 (製造業、農林漁業、鉱業)	13
3 . 経営見通し	15
(1) 売上高 (全産業；金融・保険業、不動産業を除く)	15
(2) 経常利益 (全産業；金融・保険業、不動産業を除く)	17
4 . 生産設備見通し (製造業)	19
5 . 設備投資の動向 (全産業)	21
(1) 半期別動向	21
(2) 資本金規模別動向	23
(3) 年度の動向	23
(4) 四半期別動向	25
付表 企業経営者の判断と見通し (BSI)	26
統計表	27

調査要領

本調査は、資本金1億円以上の全営利法人を対象として、設備投資の実績及び計画並びに企業経営者の景気と経営に対する判断及び見通し並びに設備投資に関連する海外直接投資動向を調査したものである。

調査対象：調査は、原則として国内に本社又は主たる事務所をもって企業活動を営む資本金又は出資額が1億円以上の全営利法人（約37,800社）から、経済企画庁が定める方法により選定した4,528社を対象とした。

調査時点：平成11年3月10日

調査方法：調査は、調査法人の自計申告により行った。

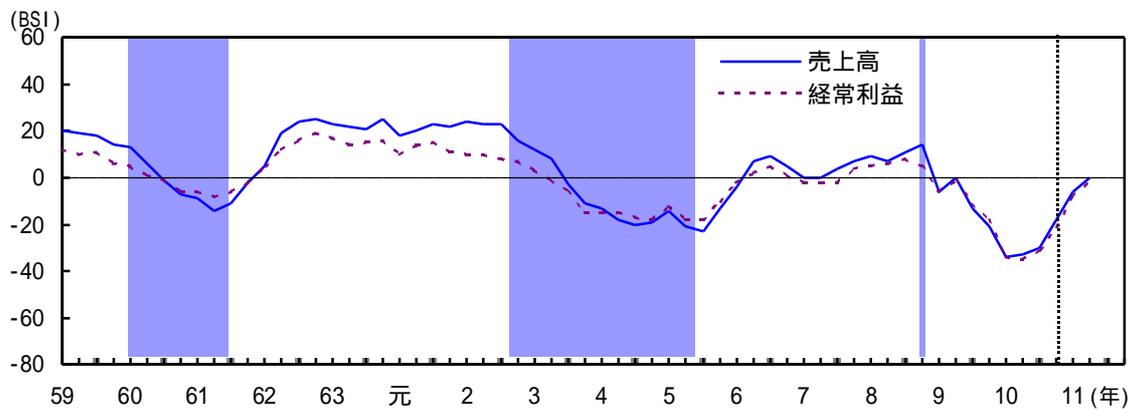
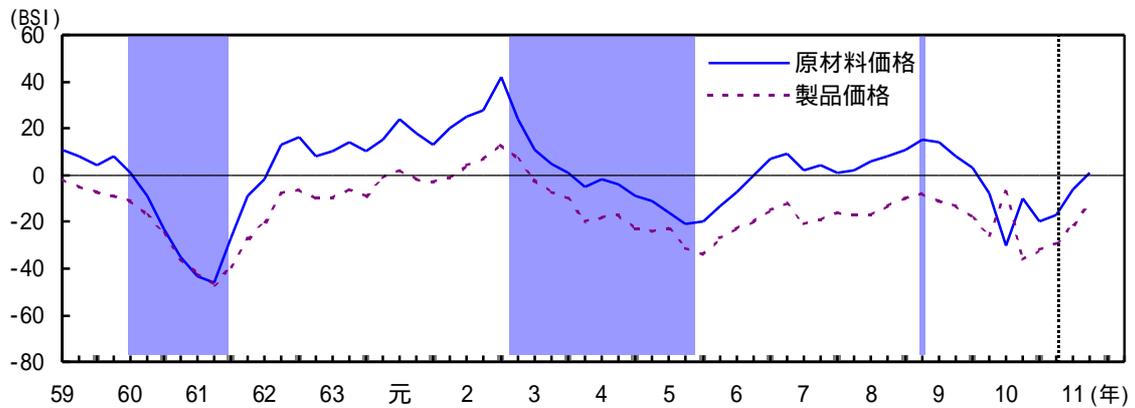
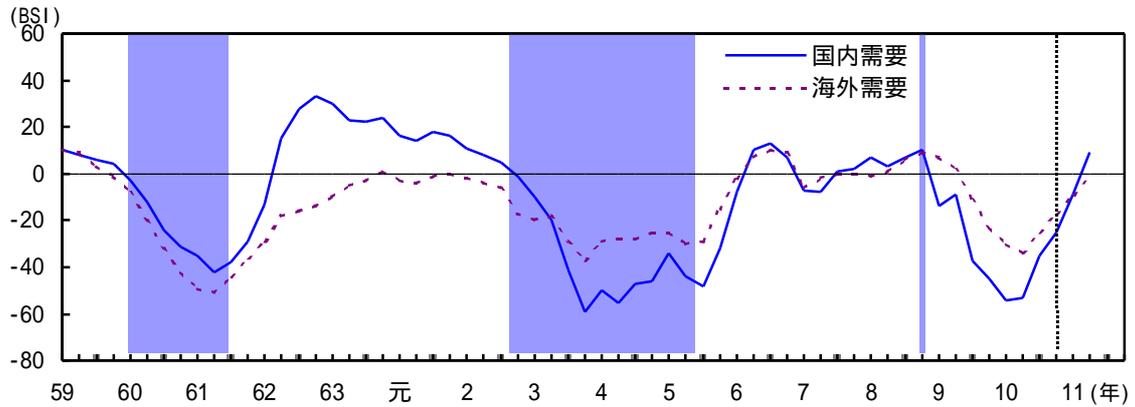
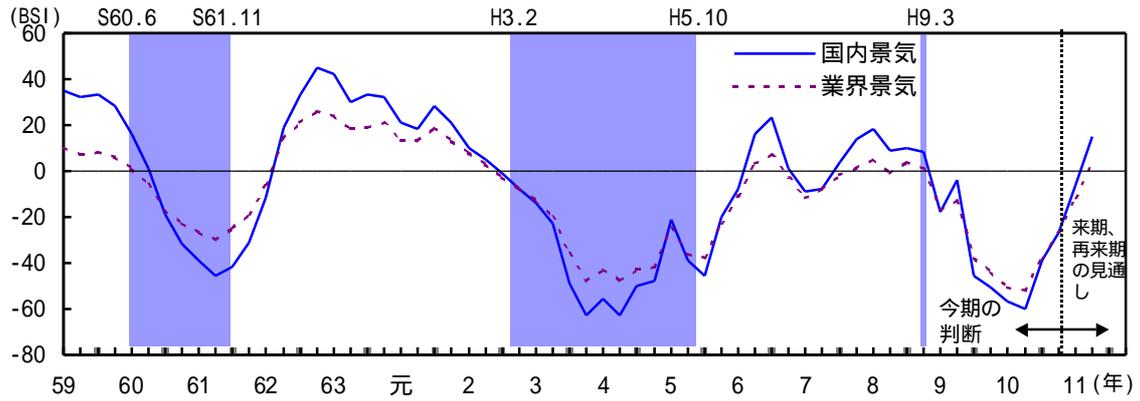
なお、資本金又は出資額が100億円以上の営利法人については原則として全数調査、100億円未満の営利法人は、層化任意抽出法により選定した法人について調査した。

有効回答率：調査対象法人4,528社のうち、有効回答法人4,260社、有効回答率94.1%

〔利用上の注意〕

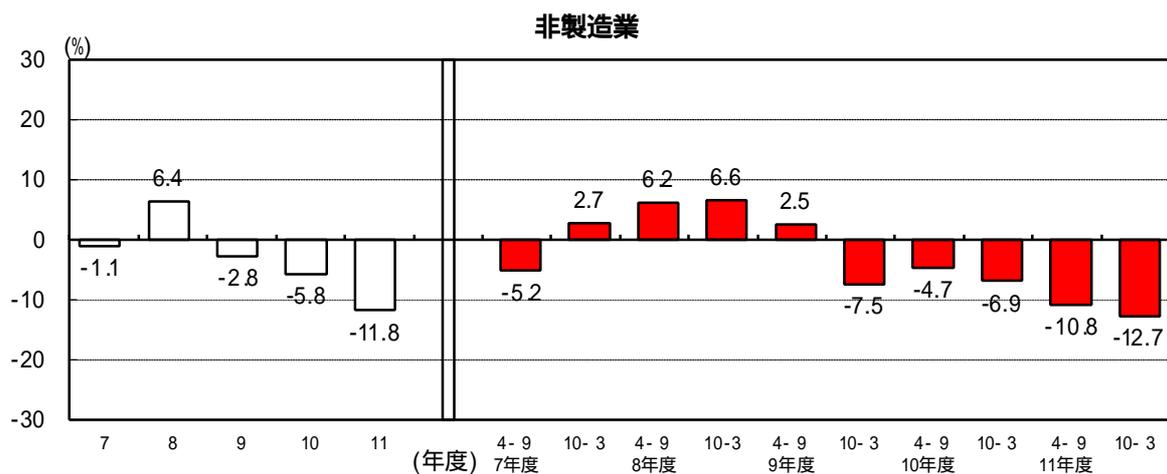
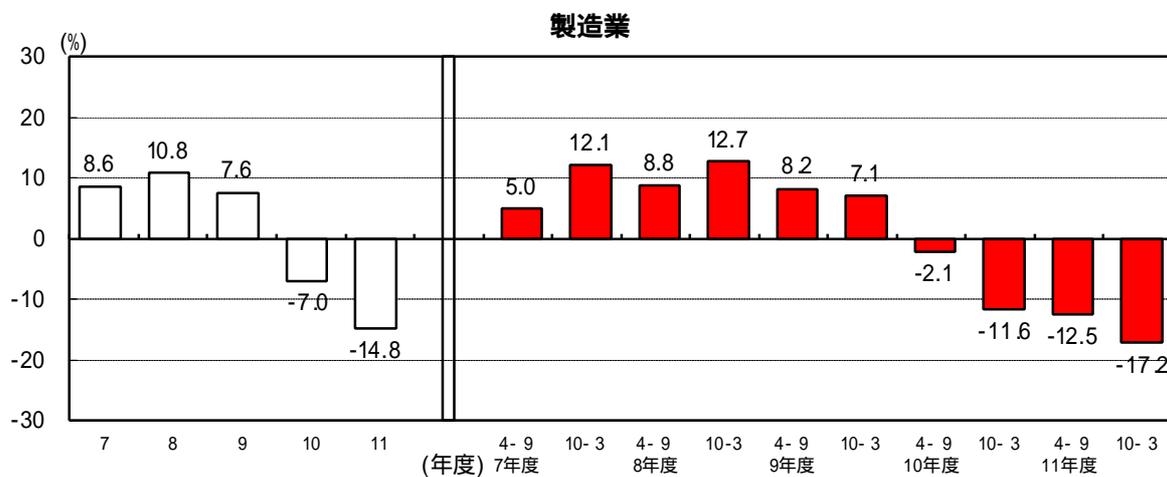
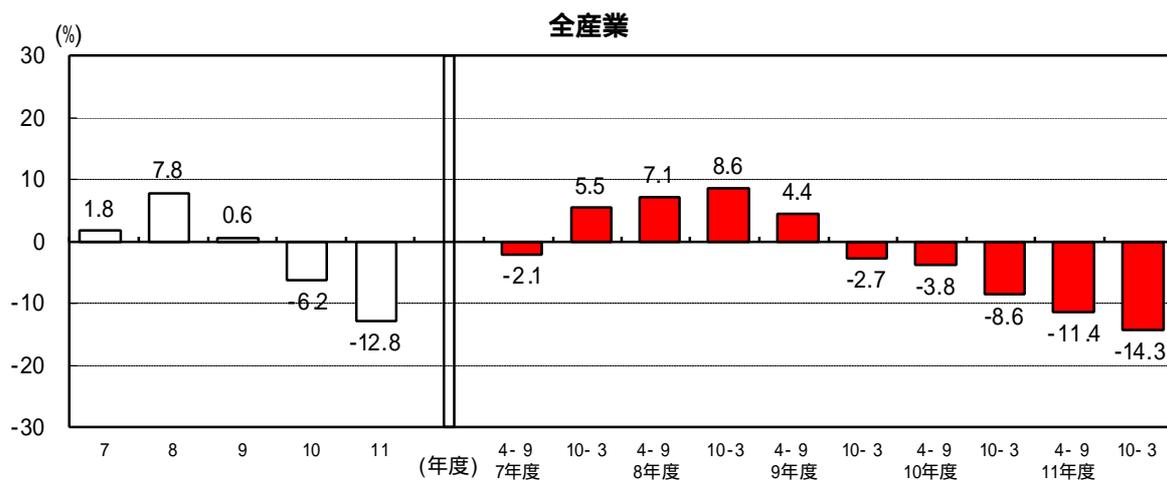
- 1 今期3か月の判断とは平成10年10～12月期と比較した場合の11年1～3月期の判断、来期3か月の見通しとは11年1～3月期と比較した場合の11年4～6月期の見通し、再来期3か月の見通しとは11年4～6月期と比較した場合の11年7～9月期の見通しである。ただし、在庫水準と生産設備については、それぞれの調査期間における判断と見通しである。
- 2 第1、3～12図、第1～19表及び付表の11年1～3月以前は今期の判断、4～6月は来期の見通し、7～9月は再来期の見通しである。
- 3 判断指標（BSI:Business Survey Index）とは「上昇（強くなる・増加・過大）の割合 - 下降（弱くなる・減少・不足）の割合」である。
- 4 設備投資の公表数値は、母集団推計値である。また、算出基準は工事進捗ベース（建設仮勘定を含む有形固定資産の減価償却前増加額）である。
- 5 季節調整法は、センサス局法、X-11で算出した。
- 6 集計上の産業分類は、日本標準産業分類を基準とする会社ベースでの主業分類に基づいて行った。
- 7 昭和63年3月調査より、日本電信電話(株)、第二電電(株)等7社、JR関係7社及び電源開発(株)を調査対象に加えるとともに、日本電信電話(株)、第二電電(株)等7社については60年4～6月期、JR関係7社については62年4～6月期に遡及して集計に加えた。
- 8 平成元年6月調査より消費税を除くベースで調査した。
- 9 平成10年6月調査より以下のとおり産業分類の見直しを行い、昭和59年6月調査に遡及して集計を行った。
 - (1) 「造船」を「その他の輸送用機械」に合併。
 - (2) 「印刷・出版」を「その他の製造業」に合併。
 - (3) 「卸売・小売業、飲食店」の内訳を廃止し、「卸売業」と「小売業、飲食店」に分割。
 - (4) 「運輸・通信業」の内訳を廃止し、「運輸業」と「通信業」に分割。
 - (5) 「電力業」と「ガス業」を合併し、「電力・ガス業」とする。
 - (6) 「サービス業」を「サービス業（除くリース業）」と「リース業」に分割。
 - (7) 製造業を素材型、加工型に分類。

第1図 企業経営者の景気 経営判断と見通し(BSI) (季節調整値)



(注) 1. グラフ中の網かけ部分は景気後退期を示す。
 2. 11年1～3月以前は今期の判断、4～6月は来期の見通し、7～9月は再来期の見通しである。

第2図 設備投資の伸び (前年同期比)



(注) 1. 10年度は実績見込み、11年度は当初計画である。
 2. 10年度10～3月は実績見込み、11年度4～9月及び10～3月は計画である。

1. 景気見通し（全産業；季節調整値）

(1) 国内景気

企業経営者による国内景気に関する判断指標（BSI：「上昇」 - 「下降」）をみると、平成10年10～12月「-39」の後、11年1～3月には「-27」と前期に比べマイナス幅が縮小した。

その後の見通しは、4～6月「-6」と大きく和らいだ後、7～9月には「15」と「上昇」が「下降」を上回っている。

産業別にみると、製造業では11年1～3月「-25」、4～6月「-4」、7～9月「17」となり、非製造業では11年1～3月「-26」、4～6月「-6」、7～9月「14」となっている。

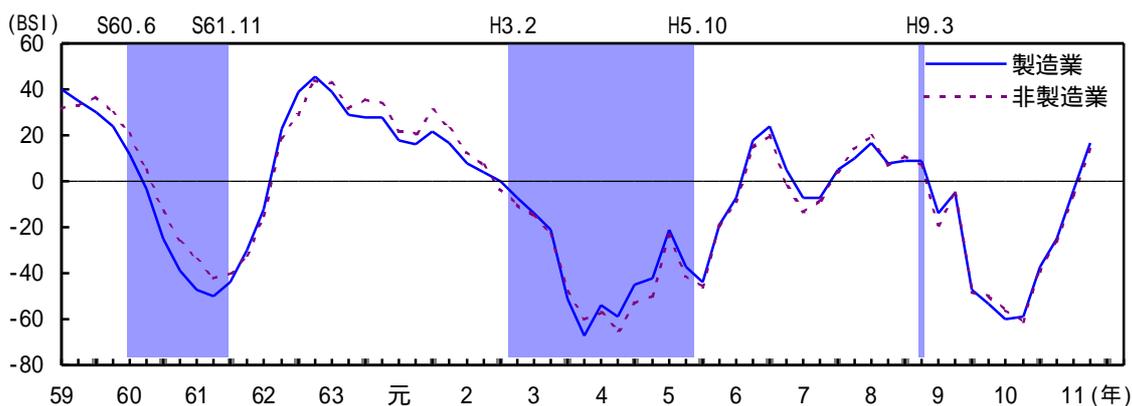
第1表 国内景気の判断と見通し

(単位：%)

期 間	上 昇	不 変	下 降	B S I
8年 10～12月	13	84	3	10
9年 1～3月	15	78	7	8
4～6月	6	70	24	-18
7～9月	6	84	10	-4
10年 10～12月	3	48	49	-46
11年 1～3月	1	47	52	-51
4～6月	1	41	58	-57
7～9月	0	40	60	-60
10年 10～12月	2	57	41	-39
11年 1～3月	1	71	28	-27
4～6月	8	78	14	-6
7～9月	20	75	5	15

- (注) 1. BSI=上昇 下降
 2. 平成11年1～3月以前は今期の判断、4～6月は来期の見通し、7～9月は再来期の見通しである。

第3図 国内景気 BSI (産業別) の推移

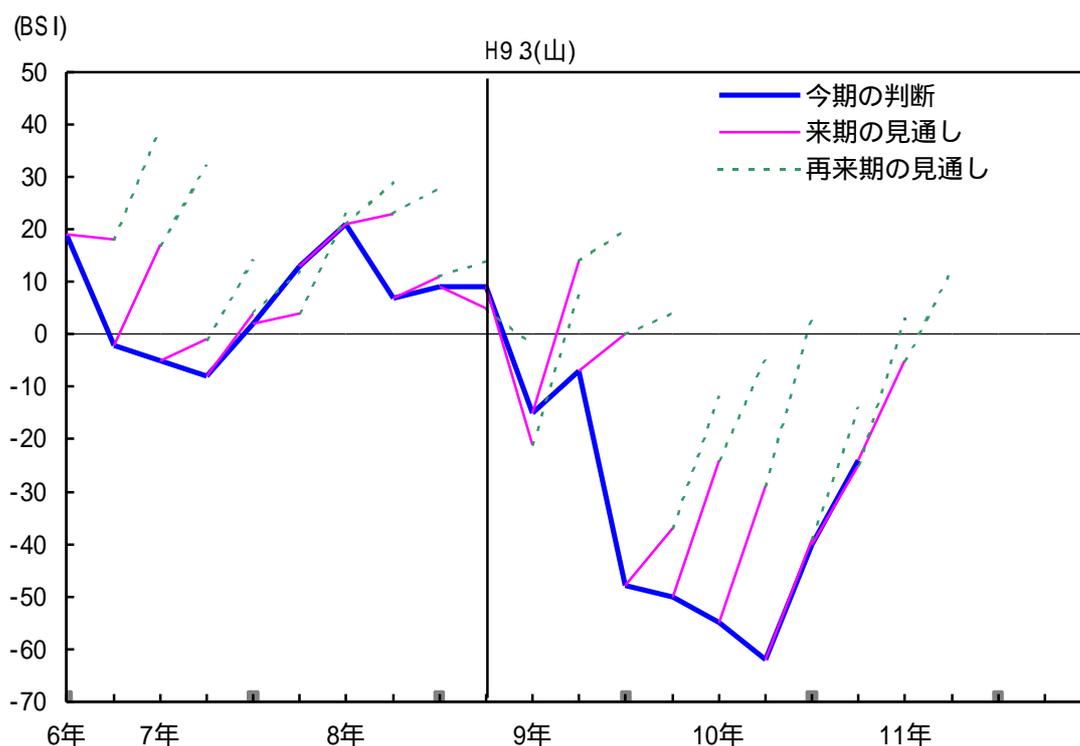


第2表 国内景気 BSI (業種別)

(単位：%)

業 種 \ 期 間	10年			11年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
全 産 業	-57	-60	-39	-27	-6	15
製 造 業	-60	-59	-37	-25	-4	17
素材型	-62	-64	-36	-26	-4	15
繊維工業	-52	-79	-29	-25	-5	12
パルプ・紙	-57	-77	-37	-20	5	23
化学工業	-59	-58	-32	-22	0	14
石油・石炭製品	-57	-77	-37	-37	-5	15
ゴム・皮革製品	-67	-56	-39	-25	-4	15
窯業・土石製品	-56	-58	-38	-20	-1	18
鉄鋼業	-71	-75	-53	-43	-12	13
非鉄金属	-74	-70	-44	-26	-5	8
加工型	-57	-56	-36	-25	-4	17
食料品・飲料	-45	-50	-30	-15	2	19
金属製品	-51	-51	-29	-24	-4	14
一般機械	-66	-64	-41	-31	-10	10
電気機械	-53	-55	-36	-24	-4	15
自動車	-55	-47	-31	-26	-4	17
その他の輸送用機械	-57	-64	-36	-25	-8	14
精密機械	-56	-66	-51	-35	-8	25
その他の製造業	-62	-62	-38	-21	0	25
非製造業	-56	-61	-39	-26	-6	14
農林漁業	-77	-81	-51	-18	17	30
鉱 業	-26	-48	-25	-10	3	21
建設業	-51	-50	-30	-18	-2	14
卸売業	-61	-64	-40	-31	-6	16
小売業, 飲食店	-58	-64	-39	-32	-11	15
金融・保険業	-64	-71	-38	-20	1	25
不動産業	-55	-61	-42	-21	-9	6
運輸業	-55	-56	-39	-23	-4	6
通信業	-49	-56	-42	-27	-1	15
電力・ガス業	-34	-35	-15	-11	-4	8
サービス業(除くリース業)	-52	-62	-42	-32	-15	5
リース業	-67	-61	-46	-29	-6	18

第4図 国内景気 BSIの見通し修正傾向 (原数値)

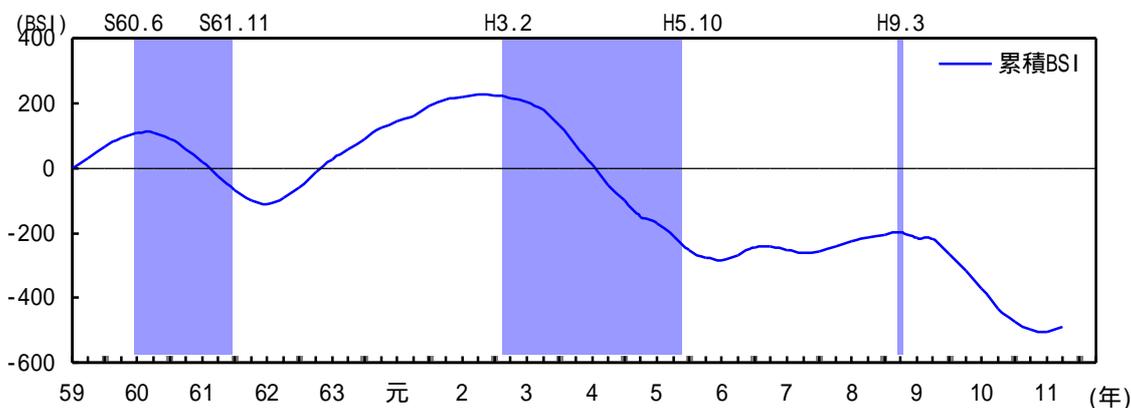


国内景気 BSIの見通し修正傾向 (原数値)

	10年				11年		
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
今期の判断	-50	-55	-62	-40	-24		
来期の見通し	-37	-24	-29	-39	-25	-5	
再来期の見通し	4	-12	-5	3	-14	3	12

(注) 法人企業動向調査では、過去の調査の「今期の判断」に、今回調査の結果(含む「来期」、「再来期の見通し」)をつなげてBSIの季節調整値を算出している。このため、過去の調査における来期の見通し及び再来期の見通しの数値は、調査ごとに季節調整期間が異なる。これにより、季節調整値では厳密に過去の調査と比較できないため、修正傾向(国内景気、業界景気)については原数値で比較することとした。

第5図 国内景気の累積 BSI (季節調整値)



(注) 累積BSIは、ある時点(この場合昭和59年4～6月)を起点(0)として、その後毎期のBSIを加算したものである。

(2) 業界景気

所属業界の景気に関する判断指標（BSI：「上昇」 - 「下降」）をみると、平成10年10～12月「-38」の後、11年1～3月には「-27」と前期に比べマイナス幅が縮小した。

その後の見通しは、4～6月「-12」と大きく和らいだ後、7～9月には「3」と「上昇」が「下降」を上回っている。

産業別にみると、製造業では11年1～3月「-28」、4～6月「-10」、7～9月「6」となり、非製造業では11年1～3月「-26」、4～6月「-14」、7～9月「1」となっている。

第3表 業界景気の判断と見通し

(単位：%)

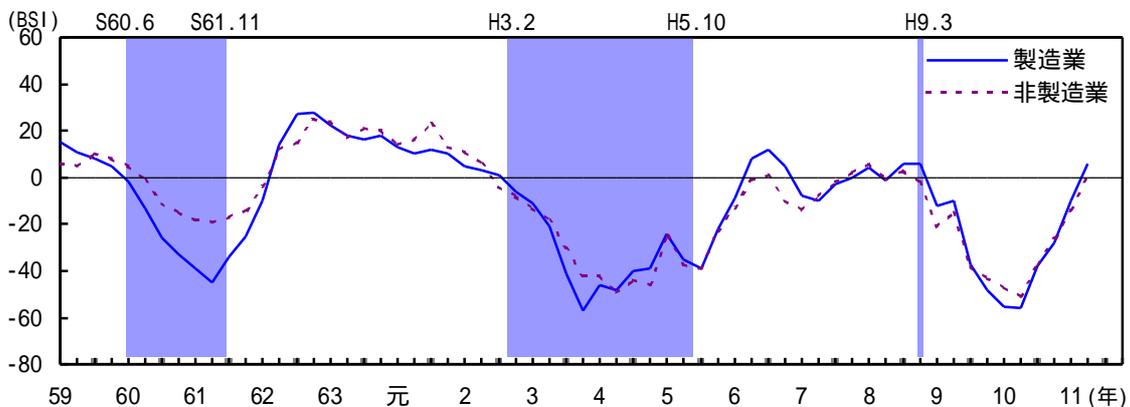
期 間	上 昇	不 変	下 降	B S I
8年 10～12月	14	76	10	4
9年 1～3月	14	73	13	1
4～6月	9	65	26	-17
7～9月	7	73	20	-13
10年 10～12月	5	52	43	-38
11年 1～3月	3	50	47	-44
4～6月	3	43	54	-51
7～9月	3	42	55	-52
10年 10～12月	4	54	42	-38
11年 1～3月	5	63	32	-27
4～6月	8	72	20	-12
7～9月	14	75	11	3

(注) B S I = 上昇 - 下降

業界景気 BSI の見直し修正傾向 (原数値)

	10年				11年		
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
今期の判断	-45	-50	-53	-38	-27		
来期の見通し	-30	-26	-26	-33	-26	-12	
再来期の見通し	-4	-14	-9	-4	-18	-6	2

第6図 業界景気 BSI (産業別) の推移



第4表 業界景気 BSI (業種別)

(単位：%)

業 種 \ 期 間	10年			11年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
全 産 業	-51	-52	-38	-27	-12	3
製 造 業	-55	-56	-38	-28	-10	6
素材型	-61	-62	-42	-27	-9	6
繊維工業	-56	-66	-42	-35	-11	7
パルプ・紙	-55	-83	-40	-28	4	16
化学工業	-58	-51	-33	-18	-5	8
石油・石炭製品	-55	-68	-35	-31	-30	-9
ゴム・皮革製品	-66	-58	-36	-31	-22	2
窯業・土石製品	-56	-56	-50	-22	-7	6
鉄鋼業	-75	-83	-58	-45	-24	0
非鉄金属	-74	-68	-53	-33	-6	9
加工型	-51	-50	-38	-28	-8	6
食料品・飲料	-28	-34	-24	-14	2	10
金属製品	-52	-45	-29	-33	-10	-3
一般機械	-59	-60	-45	-38	-17	-1
電気機械	-52	-51	-35	-22	-4	9
自動車	-58	-51	-35	-31	-10	6
その他の輸送用機械	-46	-55	-45	-38	-23	-7
精密機械	-44	-62	-56	-31	-18	13
その他の製造業	-57	-56	-43	-22	-4	10
非製造業	-47	-51	-37	-26	-14	1
農林漁業	-49	-69	-53	-44	-4	14
鉱 業	-34	-39	-35	-17	-2	3
建設業	-45	-48	-28	-17	-7	-6
卸売業	-59	-57	-40	-30	-9	8
小売業, 飲食店	-50	-57	-42	-35	-14	7
金融・保険業	-54	-65	-38	-22	-11	11
不動産業	-48	-60	-38	-23	-21	-14
運輸業	-50	-53	-41	-29	-18	-9
通信業	-11	-18	-12	0	-2	13
電力・ガス業	-12	-14	-12	-3	-2	7
サービス業(除くリース業)	-37	-41	-39	-27	-17	-7
リース業	-52	-56	-45	-34	-18	10

2. 需要・価格関連見通し（季節調整値）

(1) 内外需要（製造業）

企業経営者による国内需要に関する判断指標（BSI：「強くなる」 - 「弱くなる」）をみると、平成10年10～12月「-35」の後、11年1～3月には「-25」と前期に比べマイナス幅が縮小した。

その後の見通しは、4～6月「-9」と大きく和らいだ後、7～9月には「9」と改善を見込んでいる。

また、海外需要に関する判断指標（BSI：「強くなる」 - 「弱くなる」）をみると、10年10～12月「-25」の後、11年1～3月には「-17」となった。

その後の見通しは、4～6月「-9」、7～9月「-1」と次第に悪化の程度が和らいでいる。

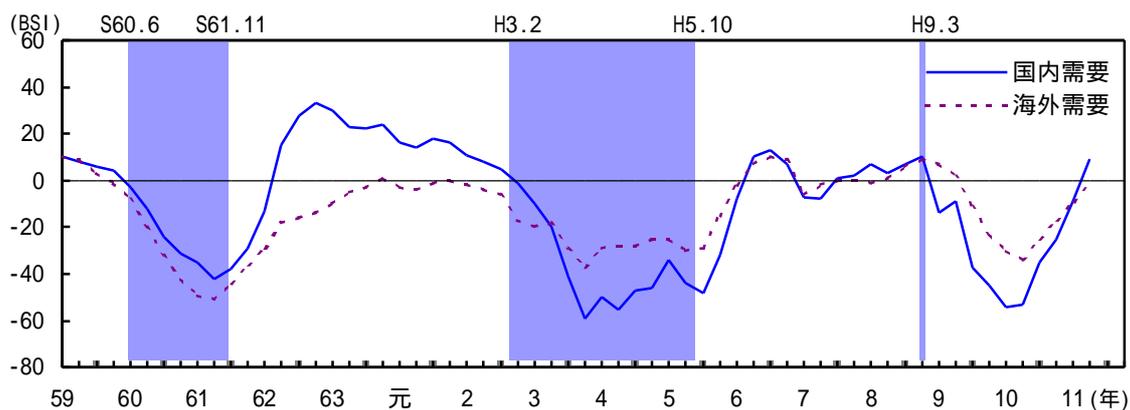
第5表 内外需要の判断と見通し

(単位：%)

期 間	国 内 需 要				海 外 需 要			
	強くなる	不 変	弱くなる	BSI	強くなる	不 変	弱くなる	BSI
8年 10～12月	13	81	6	7	12	82	6	6
9年 1～3月	17	76	7	10	14	81	5	9
4～6月	8	70	22	-14	13	81	6	7
7～9月	6	79	15	-9	10	82	8	2
10年 10～12月	4	55	41	-37	7	75	18	-11
11年 1～3月	2	51	47	-45	6	65	29	-23
4～6月	2	42	56	-54	4	62	34	-30
7～9月	2	43	55	-53	3	60	37	-34
10～12月	4	57	39	-35	3	69	28	-25
11年 1～3月	4	67	29	-25	3	77	20	-17
4～6月	7	77	16	-9	4	83	13	-9
7～9月	17	75	8	9	8	83	9	-1

(注) BSI = 強くなる - 弱くなる

第7図 内外需要 BSI の推移



第6表 国内需要 BSI (業種別)

(単位：%)

業種 \ 期間	10年			11年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
製造業	-54	-53	-35	-25	-9	9
素材型	-59	-61	-39	-25	-6	9
繊維工業	-49	-73	-42	-31	-7	8
パルプ・紙	-64	-73	-49	-25	9	16
化学工業	-55	-53	-32	-18	-2	7
石油・石炭製品	-49	-67	-35	-33	-12	8
ゴム・皮革製品	-60	-50	-27	-40	-14	8
窯業・土石製品	-53	-56	-40	-16	-5	13
鉄鋼業	-69	-84	-53	-50	-19	6
非鉄金属	-71	-71	-47	-26	-8	4
加工型	-49	-48	-33	-26	-10	9
食料品・飲料	-32	-36	-19	-11	-2	10
金属製品	-45	-43	-28	-23	-15	6
一般機械	-59	-61	-41	-34	-13	4
電気機械	-50	-50	-36	-23	-5	8
自動車	-55	-44	-32	-30	-13	10
その他の輸送用機械	-51	-56	-39	-37	-23	-10
精密機械	-41	-61	-48	-31	-12	17
その他の製造業	-52	-51	-32	-24	-6	9

第7表 海外需要 BSI (業種別)

(単位：%)

業種 \ 期間	10年			11年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
製造業	-30	-34	-25	-17	-9	-1
素材型	-35	-40	-26	-17	-9	0
繊維工業	-20	-47	-26	-23	-12	-4
パルプ・紙	-37	-38	-13	-12	-7	0
化学工業	-34	-31	-20	-13	-2	2
石油・石炭製品	-40	-47	-38	-40	-16	12
ゴム・皮革製品	-21	-32	-13	-11	-16	-2
窯業・土石製品	-35	-35	-25	-16	-8	6
鉄鋼業	-54	-61	-45	-30	-30	-13
非鉄金属	-38	-55	-32	-16	-10	8
加工型	-27	-30	-25	-17	-9	1
食料品・飲料	-15	-22	-16	-10	-6	-4
金属製品	-25	-32	-28	-16	-16	-8
一般機械	-26	-34	-30	-25	-13	-6
電気機械	-32	-30	-25	-14	-5	6
自動車	-26	-27	-17	-17	-11	3
その他の輸送用機械	-20	-34	-29	-25	-14	-11
精密機械	-15	-34	-35	-19	-10	-5
その他の製造業	-26	-30	-20	-12	3	14

(2) 在庫水準（製造業）

自己企業の原材料在庫水準に関する判断指標（BSI：「過大」 - 「不足」）をみると、平成10年12月末「20」、11年3月末「19」と引き続き過大感は高い水準となった。しかし、その後の見通しは、6月末「14」、9月末「8」となり、過大感が次第に和らいでいる。

また、完成品在庫水準に関する判断指標をみると、10年12月末「33」から11年3月末の「29」と若干低下するが、過大感は引き続き高い水準となった。しかし、その後の見通しは、6月末「22」、9月末「12」となり、過大感が次第に和らいでいる。

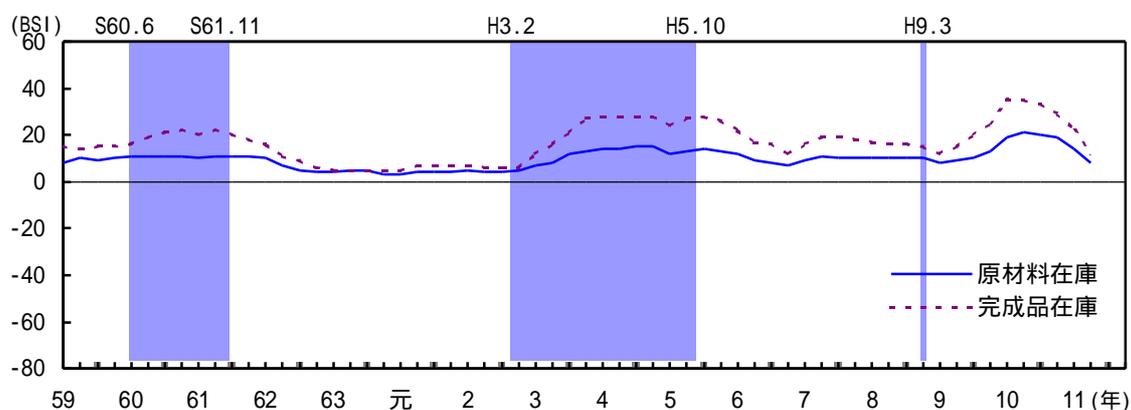
第8表 在庫水準の判断と見通し

(単位：%)

期 間	原材料（原材料消費高に照らし）				完成品（売上高に照らし）			
	過 大	適 正	不 足	B S I	過 大	適 正	不 足	B S I
8年 12月 月末	11	88	1	10	18	80	2	16
9年 3月 月末	11	88	1	10	17	81	2	15
6月 月末	9	90	1	8	15	82	3	12
9月 月末	10	89	1	9	18	79	3	15
10年 12月 月末	11	88	1	10	22	76	2	20
3月 月末	13	87	0	13	26	73	1	25
6月 月末	20	79	1	19	36	63	1	35
9月 月末	21	79	0	21	36	63	1	35
12月 月末	21	78	1	20	34	65	1	33
11年 3月 月末	20	79	1	19	30	69	1	29
6月 月末	14	86	0	14	23	76	1	22
9月 月末	8	92	0	8	13	86	1	12

(注) B S I = 過大 - 不足

第8図 在庫水準 BSIの推移



第9表 原材料在庫水準 BSI (業種別)

(単位：%)

業種	期間	10年			11年		
		6月月末	9月月末	12月月末	3月月末	6月月末	9月月末
製造業、鉱業		19	21	20	18	14	9
製造業		19	21	20	19	14	8
素材型		19	21	20	20	13	7
繊維工業		19	27	23	27	19	12
パルプ・紙		18	21	21	22	15	8
化学工業		20	22	21	19	13	8
石油・石炭製品		7	15	5	5	4	3
ゴム・皮革製品		17	22	17	12	5	-1
窯業・土石製品		18	18	15	13	8	4
鉄鋼業		29	22	33	31	23	12
非鉄金属		26	28	19	16	7	4
加工型		20	20	20	18	14	9
食料品・飲料		9	4	8	8	3	-1
金属製品		19	17	18	24	11	12
一般機械		20	22	24	23	23	14
電気機械		25	27	26	22	14	11
自動車		12	18	11	15	12	11
その他の輸送用機械		18	20	25	21	12	8
精密機械		21	34	41	30	31	17
その他の製造業		23	15	16	13	11	5
非製造業		-	-	-	-	-	-
鉱業		9	17	18	14	11	6

第10表 完成品・商品在庫水準 BSI (業種別)

(単位：%)

業種	期間	10年			11年		
		6月月末	9月月末	12月月末	3月月末	6月月末	9月月末
製造業、鉱業、卸売業、 小売業、飲食店		33	32	31	27	20	14
製造業		35	35	33	29	22	12
素材型		40	42	38	33	24	14
繊維工業		56	66	50	47	36	22
パルプ・紙		43	45	35	27	16	10
化学工業		36	33	32	30	18	10
石油・石炭製品		18	30	14	15	7	5
ゴム・皮革製品		41	60	42	31	34	12
窯業・土石製品		46	51	45	45	36	23
鉄鋼業		47	47	56	43	39	16
非鉄金属		34	32	24	20	13	6
加工型		32	31	29	25	20	13
食料品・飲料		14	14	12	12	6	4
金属製品		25	29	26	24	22	14
一般機械		37	38	39	35	30	21
電気機械		33	35	32	23	19	13
自動車		24	32	11	20	16	15
その他の輸送用機械		41	30	32	27	13	7
精密機械		28	39	48	48	38	22
その他の製造業		37	34	31	28	22	14
非製造業		-	-	-	-	-	-
鉱業		13	16	20	20	12	12
卸売業		32	32	28	28	19	15
小売業、飲食店		29	24	24	21	15	14

(3) 価格（製造業、農林漁業、鉱業）

自己企業の原材料価格に関する判断指標（BSI：「上昇」 - 「下降」）をみると、平成10年10～12月「-20」の後、11年1～3月は「-17」と引き続き下落したが、その後は、4～6月「-6」、7～9月「1」と持ち直す見通しとなっている。

また、製品価格に関する判断指標（BSI：「上昇」 - 「下降」）をみると、10年10～12月「-32」、11年1～3月「-29」と引き続き大幅な下落となった。その後の見通しは、4～6月「-21」、7～9月「-12」となり、マイナス幅は次第に縮小するものの、引き続き下落している。

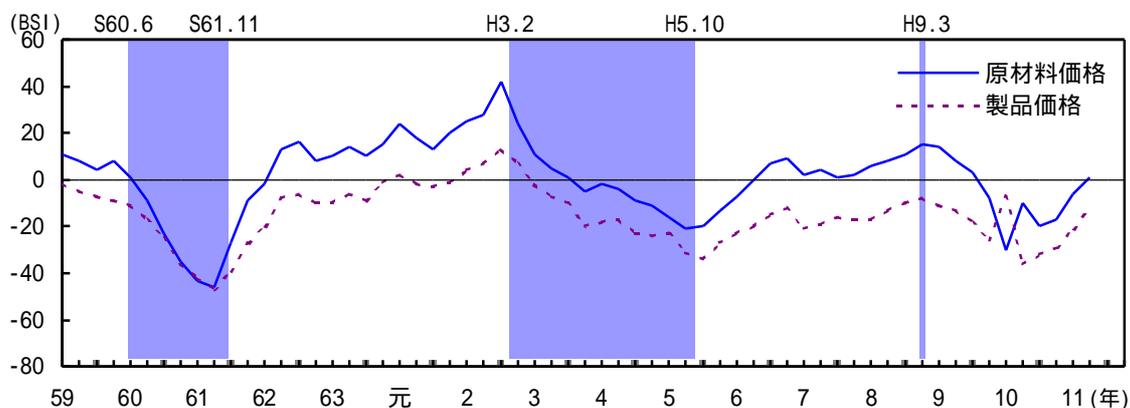
第11表 価格の判断と見通し

(単位：%)

期 間	原 材 料				製 品			
	上 昇	不 変	下 降	B S I	上 昇	不 変	下 降	B S I
8年 10～12月	17	77	6	11	7	76	17	-10
9年	1～3月	20	75	5	15	8	76	-8
	4～6月	19	76	5	14	8	73	-11
	7～9月	15	78	7	8	6	75	-13
	10～12月	13	77	10	3	5	72	-18
10年	1～3月	6	80	14	-8	3	68	-26
	4～6月	4	62	34	-30	10	73	-7
	7～9月	7	76	17	-10	2	60	-36
	10～12月	3	74	23	-20	2	64	-32
11年	1～3月	2	79	19	-17	1	69	-29
	4～6月	3	88	9	-6	1	77	-21
	7～9月	7	87	6	1	4	80	-12

(注) B S I = 上昇 - 下降

第9図 価格 BSIの推移



第12表 原材料価格 BSI (業種別)

(単位：%)

業種 \ 期間	10年			11年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
製造業、農林漁業、鉱業	-30	-10	-20	-17	-6	1
製造業	-32	-9	-20	-17	-6	2
素材型	-36	-10	-32	-25	-2	6
繊維工業	-27	-11	-17	-20	-2	4
パルプ・紙	-43	-10	-27	-8	16	16
化学工業	-36	-8	-25	-21	-6	4
石油・石炭製品	-20	11	-77	-31	23	4
ゴム・皮革製品	-29	-9	-4	-4	-5	1
窯業・土石製品	-36	-6	-14	-18	4	6
鉄鋼業	-53	-39	-59	-49	-10	0
非鉄金属	-31	-24	-50	-38	-7	7
加工型	-27	-10	-14	-12	-9	-2
食料品・飲料	-1	2	-5	-14	-4	0
金属製品	-20	-19	-19	-22	-13	-6
一般機械	-26	-16	-15	-11	-8	-7
電気機械	-40	-11	-16	-10	-7	-7
自動車	-23	-14	-5	-8	-6	-3
その他の輸送用機械	-36	-7	-16	-16	-9	0
精密機械	-34	-12	-3	-11	-7	1
その他の製造業	-30	-9	-20	-13	0	4
非製造業	-	-	-	-	-	-
農林漁業	-7	-16	-3	-32	-9	-9
鉱業	-16	5	-18	-10	6	8

第13表 製品価格 BSI (業種別)

(単位：%)

業種 \ 期間	10年			11年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
製造業、農林漁業、鉱業	-7	-36	-32	-29	-21	-12
製造業	-6	-37	-32	-29	-20	-12
素材型	-8	-38	-38	-35	-18	-6
繊維工業	-8	-30	-37	-34	-23	-5
パルプ・紙	4	-66	-38	-29	-2	5
化学工業	-8	-33	-27	-28	-11	-9
石油・石炭製品	27	-20	-63	-46	-5	5
ゴム・皮革製品	-12	-40	-17	-32	-20	-10
窯業・土石製品	-9	-37	-40	-37	-27	-17
鉄鋼業	-21	-64	-62	-54	-37	-7
非鉄金属	-23	-42	-47	-34	-24	-3
加工型	-6	-34	-29	-28	-24	-16
食料品・飲料	5	-13	-12	-19	-14	-5
金属製品	-11	-40	-31	-25	-22	-17
一般機械	-9	-35	-28	-28	-23	-13
電気機械	-12	-46	-43	-37	-38	-31
自動車	-2	-28	-18	-16	-14	-13
その他の輸送用機械	-5	-32	-31	-33	-32	-12
精密機械	3	-26	-22	-20	-24	-17
その他の製造業	-7	-30	-31	-23	-9	-2
非製造業	-	-	-	-	-	-
農林漁業	-2	-26	-43	-36	7	5
鉱業	-4	-4	-21	-9	-4	1

3. 経営見通し (季節調整値)

(1) 売上高 (全産業 ; 金融・保険業、不動産業を除く)

自己企業の売上高に関する判断指標 (BSI: 「増加」 - 「減少」) をみると、平成10年10~12月「-30」の後、11年1~3月には「-18」とマイナス幅が縮小した。

その後の見通しは、4~6月「-6」、7~9月「0」となり、悪化の程度が大きく和らいでいる。

産業別にみると、製造業は11年1~3月「-22」、4~6月「-6」、7~9月「1」となり、非製造業では11年1~3月「-16」、4~6月「-6」、7~9月「-2」となっている。

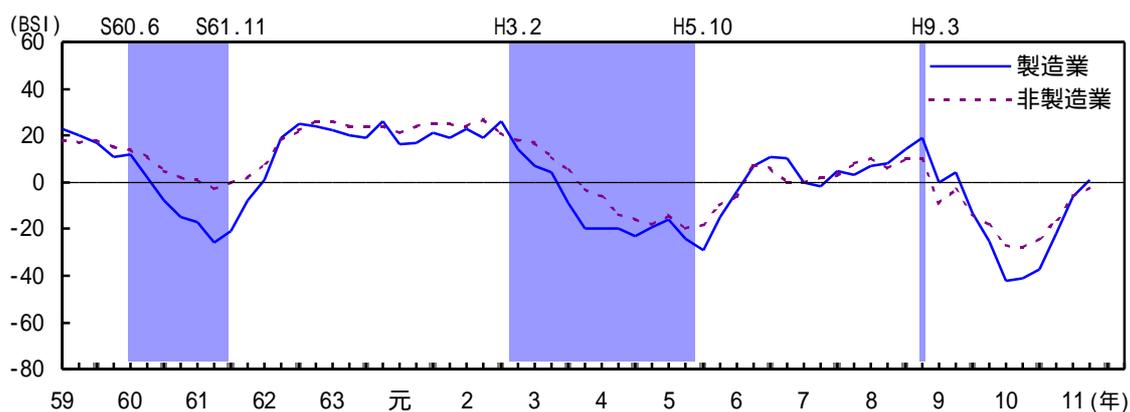
第14表 売上高の判断と見通し

(単位: %)

期 間	増 加	不 変	減 少	B S I
8年 10 ~ 12 月	30	51	19	11
9年 1 ~ 3 月	34	46	20	14
4 ~ 6 月	25	44	31	-6
7 ~ 9 月	26	48	26	0
10年 10 ~ 12 月	21	45	34	-13
11年 1 ~ 3 月	19	41	40	-21
4 ~ 6 月	15	36	49	-34
7 ~ 9 月	16	35	49	-33
10年 10 ~ 12 月	16	38	46	-30
11年 1 ~ 3 月	17	48	35	-18
4 ~ 6 月	19	56	25	-6
7 ~ 9 月	20	60	20	0

(注) B S I = 増加 - 減少

第10図 売上高 BSI (産業別) の推移



第15表 売上高 BSI (業種別)

(単位：%)

業 種 \ 期 間	10年			11年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
全 産 業 (注)	-34	-33	-30	-18	-6	0
製 造 業	-42	-41	-37	-22	-6	1
素材型	-46	-48	-45	-23	-3	6
繊維工業	-48	-53	-47	-30	-6	11
パルプ・紙	-53	-59	-46	-24	3	27
化学工業	-40	-41	-37	-15	-5	5
石油・石炭製品	-25	-27	-52	-25	-7	0
ゴム・皮革製品	-58	-54	-43	-13	7	2
窯業・土石製品	-47	-43	-47	-25	4	7
鉄鋼業	-66	-59	-56	-38	-11	-3
非鉄金属	-67	-65	-58	-24	-14	4
加工型	-37	-37	-30	-20	-5	-2
食料品・飲料	-18	-25	-14	-10	4	5
金属製品	-34	-41	-22	-18	-6	-7
一般機械	-39	-46	-43	-30	-10	-16
電気機械	-38	-35	-31	-22	-2	3
自動車	-55	-43	-32	-17	-6	-1
その他の輸送用機械	-40	-40	-23	-24	-15	-12
精密機械	-22	-32	-52	-32	-10	3
その他の製造業	-44	-39	-35	-23	2	6
非製造業 (注)	-27	-28	-24	-16	-6	-2
農林漁業	-13	-36	-32	-19	17	23
鉱 業	-22	-23	-29	-17	0	3
建設業	-22	-26	-15	-14	9	-7
卸売業	-39	-39	-32	-18	-5	2
小売業, 飲食店	-21	-26	-28	-16	-1	5
金融・保険業	-	-	-	-	-	-
不動産業	-	-	-	-	-	-
運輸業	-34	-35	-29	-24	-17	-12
通信業	-8	-12	0	4	-11	0
電力・ガス業	-6	-2	-8	-15	12	-1
サービス業(除くリース業)	-24	-22	-21	-15	-10	-2
リース業	-22	-28	-35	-19	-24	-9

(注) 金融・保険業、不動産業を除く。

(2) 経常利益（全産業；金融・保険業、不動産業を除く）

経常利益に関する判断指標（BSI：「増加」 - 「減少」）をみると、平成10年10～12月の「-31」の後、11年1～3月には「-21」とマイナス幅が縮小した。

その後の見通しは、4～6月「-8」、7～9月「-1」となり、悪化の程度が大きく和らいでいる。

産業別にみると、製造業では11年1～3月「-23」、4～6月「-5」、7～9月「1」となり、非製造業では11年1～3月「-18」、4～6月「-9」、7～9月「-3」となっている。

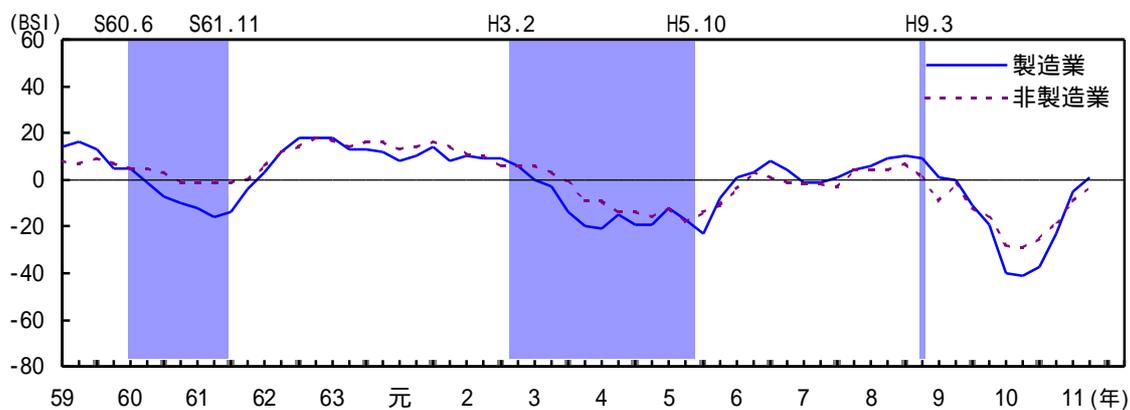
第16表 経常利益の判断と見通し

(単位：%)

期 間	増 加	不 変	減 少	B S I
8年 10～12月	31	46	23	8
9年 1～3月	30	45	25	5
4～6月	25	44	31	-6
7～9月	27	45	28	-1
10年 10～12月	24	41	35	-11
11年 1～3月	21	40	39	-18
4～6月	15	36	49	-34
7～9月	16	33	51	-35
10～12月	16	37	47	-31
11年 1～3月	17	45	38	-21
4～6月	18	56	26	-8
7～9月	19	61	20	-1

(注) B S I = 増加 - 減少

第11図 経常利益 BSI (産業別) の推移



第17表 経常利益 BSI (業種別)

(単位：%)

業 種 \ 期 間	10年			11年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
全 産 業 (注)	-34	-35	-31	-21	-8	-1
製 造 業	-40	-41	-37	-23	-5	1
素材型	-43	-48	-41	-25	-4	3
繊維工業	-43	-56	-42	-29	-16	16
パルプ・紙	-48	-61	-35	-17	5	16
化学工業	-39	-42	-34	-16	-1	2
石油・石炭製品	-27	-30	-29	-13	-6	-10
ゴム・皮革製品	-42	-65	-53	-37	9	-4
窯業・土石製品	-42	-46	-47	-26	-4	0
鉄鋼業	-58	-51	-53	-39	-8	-3
非鉄金属	-66	-58	-55	-32	-9	9
加工型	-38	-39	-34	-23	-7	-2
食料品・飲料	-25	-23	-20	-3	0	5
金属製品	-31	-39	-28	-17	-6	-1
一般機械	-42	-46	-42	-37	-15	-13
電気機械	-43	-39	-36	-29	-2	-3
自動車	-42	-42	-38	-23	-2	-1
その他の輸送用機械	-41	-48	-27	-30	-16	1
精密機械	-28	-45	-56	-32	-13	4
その他の製造業	-50	-37	-39	-25	1	5
非製造業 (注)	-28	-29	-25	-18	-9	-3
農林漁業	-15	-45	-33	-17	-2	11
鉱 業	-24	-21	-29	-27	4	-3
建設業	-28	-30	-20	-9	0	-6
卸売業	-36	-38	-27	-18	-2	2
小売業, 飲食店	-20	-24	-39	-15	-5	-1
金融・保険業	-	-	-	-	-	-
不動産業	-	-	-	-	-	-
運輸業	-32	-35	-30	-24	-14	-10
通信業	-28	-33	-17	-15	-22	-17
電力・ガス業	-6	-4	-5	-5	0	8
サービス業(除くリース業)	-24	-25	-21	-19	-13	-6
リース業	-33	-31	-27	-24	-23	-23

(注) 金融・保険業、不動産業を除く。

4 . 生産設備見通し (製造業 ; 季節調整値)

自己企業の生産設備に関する判断指標 (B S I : 「 過大 」 - 「 不足 」) をみると、平成10年10 ~ 12月「35」の後、11年1 ~ 3月には「38」となり、生産設備の過剰感はさらに高まった。

その後の見通しも、4 ~ 6月「34」、7 ~ 9月「30」と若干低下するものの、過大感は引き続き高い水準となっている。

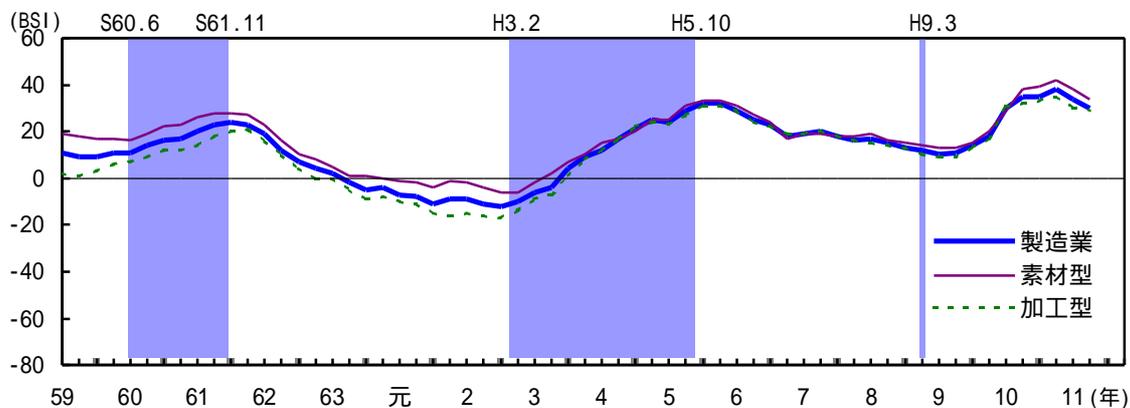
第18表 生産設備の判断と見通し

(単位 : %)

期 間	過 大	適 正	不 足	B S I
8年 10 ~ 12月	17	79	4	13
9年 1 ~ 3月	16	80	4	12
4 ~ 6月	15	80	5	10
7 ~ 9月	15	81	4	11
10年 10 ~ 12月	17	80	3	14
11年 1 ~ 3月	21	76	3	18
4 ~ 6月	32	66	2	30
7 ~ 9月	37	61	2	35
10 ~ 12月	37	61	2	35
11年 1 ~ 3月	40	58	2	38
4 ~ 6月	36	62	2	34
7 ~ 9月	32	66	2	30

(注) B S I = 過大 - 不足

第12図 生産設備 BSI (業種別) の推移



第19表 生産設備 BSI (業種別)

(単位：%)

業 種	期 間	10年			11年		
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
製 造 業		30	35	35	38	34	30
素材型		29	38	39	42	38	34
繊維工業		25	34	40	37	32	33
パルプ・紙		32	45	42	52	51	42
化学工業		18	28	26	31	28	22
石油・石炭製品		7	15	17	35	31	28
ゴム・皮革製品		33	38	37	38	34	28
窯業・土石製品		47	55	59	60	54	49
鉄鋼業		59	64	67	62	62	57
非鉄金属		32	41	38	49	37	34
加工型		31	32	33	35	30	29
食料品・飲料		17	18	20	27	16	21
金属製品		41	36	31	34	31	29
一般機械		34	38	44	46	42	42
電気機械		26	30	34	31	25	21
自動車		43	47	36	48	41	44
その他の輸送用機械		36	33	41	48	49	45
精密機械		25	31	30	35	33	23
その他の製造業		34	34	30	30	26	23

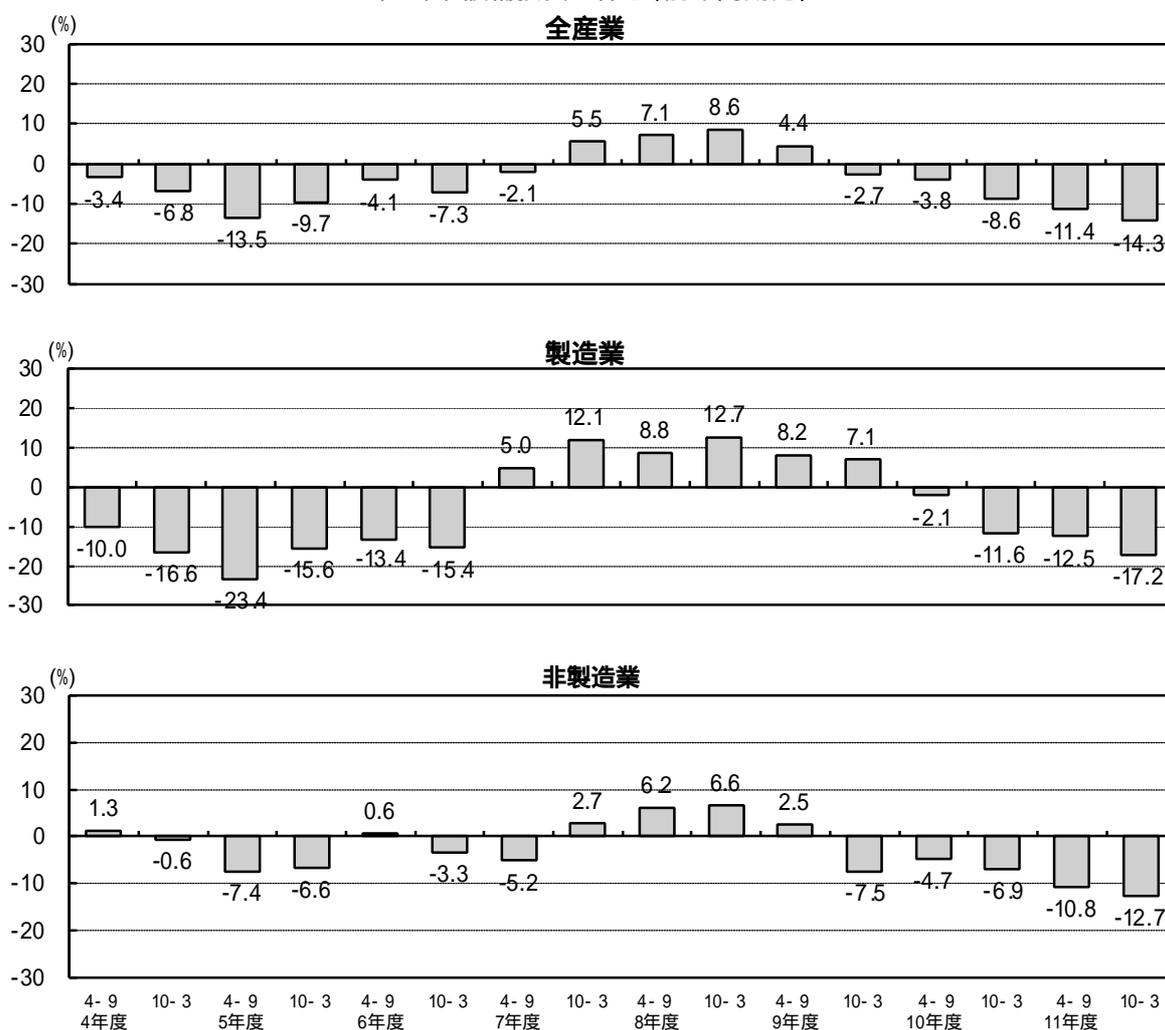
5. 設備投資の動向（全産業；原数値）

(1) 半期別動向

設備投資の動向を半期別に前年同期比で見ると、平成10年度4～9月（実績）3.8%減、10年度10～3月（実績見込み）8.6%減の後、11年度4～9月（計画）11.4%減、10～3月（計画）14.3%減の見通しとなっている。

産業別にみると、製造業は10年度4～9月2.1%減、10～3月11.6%減の後、11年度4～9月12.5%減、10～3月17.2%減の見通しとなっている。一方、非製造業では10年度4～9月4.7%減、10～3月6.9%減の後、11年度4～9月10.8%減、10～3月12.7%減の見通しとなっている。

第13図 設備投資の伸び（前年同期比）



(注)10年度10～3月は実績見込み、11年度4～9月及び10～3月は計画である。

第20表 設備投資の推移

(単位：億円,%)

期 間	設 備 投 資 額			前 年 同 期 比		
	全産業	製造業	非製造業	全産業	製造業	非製造業
3年度 4～9月	250,402	102,636	147,766	7.1	6.2	7.7
10～3月	266,047	103,649	162,398	4.5	0.6	7.1
4年度 4～9月	242,000	92,361	149,639	-3.4	-10.0	1.3
10～3月	247,844	86,480	161,363	-6.8	-16.6	-0.6
5年度 4～9月	209,342	70,704	138,639	-13.5	-23.4	-7.4
10～3月	223,722	72,957	150,765	-9.7	-15.6	-6.6
6年度 4～9月	200,748	61,232	139,516	-4.1	-13.4	0.6
10～3月	207,472	61,704	145,769	-7.3	-15.4	-3.3
7年度 4～9月	196,564	64,272	132,291	-2.1	5.0	-5.2
10～3月	218,970	69,197	149,774	5.5	12.1	2.7
8年度 4～9月	210,427	69,908	140,519	7.1	8.8	6.2
10～3月	237,700	77,991	159,709	8.6	12.7	6.6
9年度 4～9月	219,677	75,670	144,006	4.4	8.2	2.5
10～3月	231,289	83,503	147,786	-2.7	7.1	-7.5
10年度 4～9月	211,398	74,109	137,289	-3.8	-2.1	-4.7
10～3月	211,471	73,850	137,621	-8.6	-11.6	-6.9
11年度 4～9月	187,331	64,877	122,454	-11.4	-12.5	-10.8
10～3月	181,296	61,184	120,112	-14.3	-17.2	-12.7

第21表 業種別設備投資の伸び (前年同期比)

(単位：%)

業 種	期 間	8年度		9年度		10年度		11年度	
		4～9月	10～3月	4～9月	10～3月	4～9月	10～3月	4～9月	10～3月
全 産 業		7.1	8.6	4.4	-2.7	-3.8	-8.6	-11.4	-14.3
製 造 業		8.8	12.7	8.2	7.1	-2.1	-11.6	-12.5	-17.2
素材型		-0.5	4.7	-0.2	-0.4	-1.0	-11.4	-18.4	-18.6
繊維工業		-35.5	-25.3	17.5	50.2	19.8	-22.1	-16.9	-21.8
パルプ・紙		8.5	18.0	-8.7	2.9	-9.2	-26.7	-27.8	-28.3
化学工業		25.5	13.6	-2.3	7.1	6.3	-7.6	-13.9	-15.8
石油・石炭製品		-17.4	-8.9	-16.1	-24.9	-7.7	-30.6	-11.5	8.3
ゴム・皮革製品		34.4	5.4	-3.9	16.0	-0.9	-31.1	-36.5	-20.9
窯業・土石製品		15.9	23.6	-0.6	-10.3	-5.0	-8.4	-12.0	-14.7
鉄鋼業		-28.2	-0.9	15.3	-21.4	-11.0	6.6	-26.3	-25.8
非鉄金属		-6.3	-9.0	-0.8	11.6	-2.9	-9.8	-22.2	-26.0
加工型		14.6	17.1	12.9	10.8	-2.6	-11.6	-9.5	-16.5
食料品・飲料		27.5	14.8	-15.4	-14.0	-4.1	1.5	-0.6	-10.2
金属製品		-5.2	31.9	26.3	-11.9	-11.5	-21.7	-21.6	-12.2
一般機械		8.3	24.4	12.8	9.7	-3.3	-15.6	-15.4	-27.8
電気機械		-0.8	-2.9	12.2	15.3	-7.8	-18.0	-4.4	-12.4
自動車		15.8	19.9	26.9	30.9	12.4	0.6	-16.5	-19.5
その他の輸送用機械		27.3	37.4	26.2	8.7	-14.8	-22.3	11.7	-6.8
精密機械		4.1	16.0	27.8	-3.2	12.8	-5.9	-19.2	-19.2
その他の製造業		63.3	65.1	19.1	15.5	-2.9	-12.9	-12.7	-21.7
非製造業		6.2	6.6	2.5	-7.5	-4.7	-6.9	-10.8	-12.7
農林漁業		26.8	-39.2	-15.8	2.5	-23.2	-23.7	-13.7	-19.8
鉱 業		32.3	-54.2	-42.2	10.1	6.4	25.7	-8.6	-27.8
建設業		0.9	16.9	20.7	-35.6	-31.5	-20.1	-28.2	-23.3
卸売業		0.3	-8.4	-4.7	0.9	2.5	-35.4	-40.7	-18.7
小売業、飲食店		17.0	8.1	4.8	-17.2	-10.6	5.2	-5.2	-32.8
金融・保険業		16.9	5.0	-5.0	11.3	-11.9	-21.8	-13.6	-19.9
不動産業		-24.3	5.8	43.5	-3.7	-32.8	-11.1	-23.7	-31.1
運輸業		-5.2	11.9	6.5	-2.9	2.4	-11.0	-7.4	-26.3
通信業		9.2	11.9	9.9	8.0	-10.7	-0.7	-0.8	-17.2
電力・ガス業		0.4	-3.7	-8.0	5.0	15.5	-9.0	-2.3	-0.3
サービス業(除くリース業)		17.9	38.8	2.3	-33.5	-8.4	0.9	-22.9	-17.0
リース業		13.0	2.0	-0.6	-13.2	-2.0	-0.6	-9.5	1.5

(注) 1. その他の輸送用機械：鉄道車両、航空機、船舶等
 2. その他の製造業：印刷・出版、プラスチック製品、事務用品等

(2) 資本金規模別動向

資本金規模別に前年同期比でみると、資本金10億円以上の大企業では、平成10年度4～9月0.1%増、10～3月7.1%減の後、11年度4～9月10.1%減、10～3月は12.5%減の見通しとなっている。

一方、資本金1～10億円の中堅企業では、10年度4～9月11.2%減、10～3月11.7%減の後、11年度4～9月14.2%減、10～3月18.1%減の見通しとなっている。

第22表 資本金規模別設備投資の伸び(前年同期比)

(単位：%)

期間	産業	大企業(10億円以上)			中堅企業(1～10億円)		
		全産業	製造業	非製造業	全産業	製造業	非製造業
7年度	4～9月	2.0	6.0	-0.0	-10.2	2.1	-14.0
	10～3月	4.3	11.1	1.3	8.3	14.8	5.9
8年度	4～9月	3.0	-0.2	4.8	16.1	35.7	9.0
	10～3月	2.7	5.5	1.3	21.4	31.0	17.6
9年度	4～9月	3.0	9.0	-0.1	7.2	6.6	7.5
	10～3月	0.8	6.6	-2.1	-9.2	8.0	-17.0
10年度	4～9月	0.1	1.1	-0.4	-11.2	-9.2	-12.2
	10～3月	-7.1	-8.6	-6.2	-11.7	-17.4	-8.3
11年度	4～9月	-10.1	-11.9	-9.1	-14.2	-13.8	-14.3
	10～3月	-12.5	-14.2	-11.6	-18.1	-23.6	-15.1

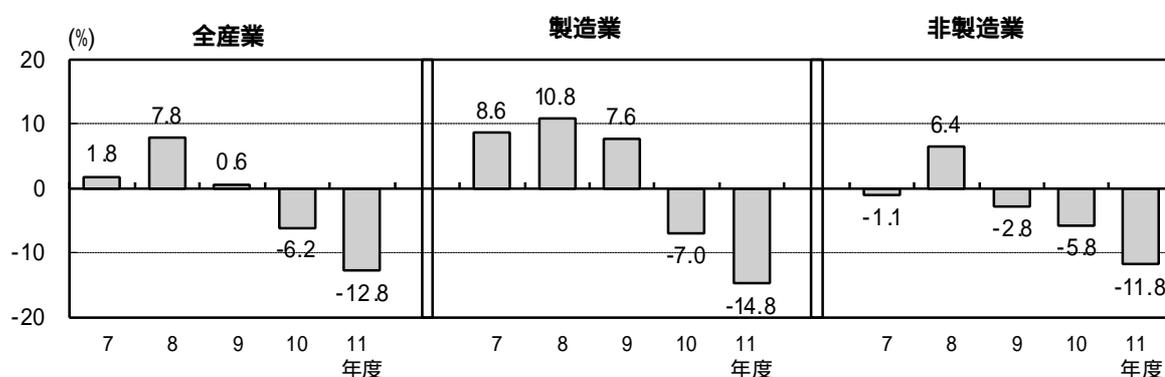
(3) 年度の動向

平成11年度の全産業の設備投資計画(当初計画)は、約36兆9千億円となり、10年度(実績見込み)に比べ12.8%の減少が見込まれている。

産業別にみると、製造業では、約12兆6千億円と、前年度に比べ14.8%の減少が見込まれている。一方、非製造業では、約24兆3千億円と、前年度に比べ11.8%の減少が見込まれている。

また、資本金規模別にみると、資本金10億円以上の大企業では、前年度に比べ11.3%の減少が見込まれている。このうち製造業では13.0%の減少、非製造業では10.3%の減少が見込まれている。一方、資本金1～10億円の中堅企業では、16.1%の減少が見込まれている。このうち製造業では18.9%の減少、非製造業では14.7%の減少が見込まれている。

第14図 産業別設備投資の伸び(前年度比)



(注) 平成9年度以前は実績、10年度は実績見込み、11年度は当初計画である。

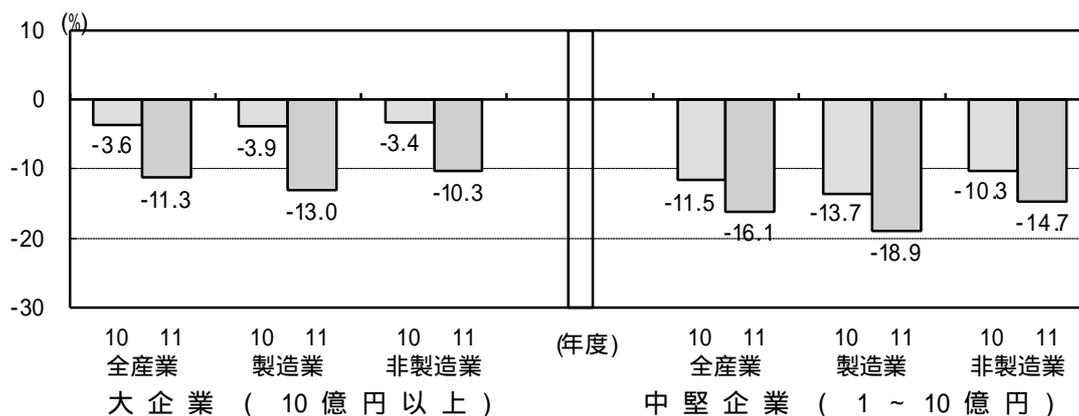
第23表 業種別設備投資計画

(単位：億円,%)

業 種	9年度	10年度	11年度	前 年 度 比		
	実 績	実績見込	計 画	9年度実績	10年度 実績見込	11年度計画
全 産 業	450,966	422,869	368,627	0.6	-6.2	-12.8
製 造 業	159,173	147,959	126,061	7.6	-7.0	-14.8
素材型	50,433	47,242	38,499	-0.3	-6.3	-18.5
繊維工業	3,028	2,879	2,324	34.8	-4.9	-19.3
パルプ・紙	4,834	3,937	2,834	-2.8	-18.6	-28.0
化学工業	18,527	18,331	15,613	2.5	-1.1	-14.8
石油・石炭製品	3,613	2,920	2,834	-20.8	-19.2	-2.9
ゴム・皮革製品	1,512	1,256	884	5.7	-16.9	-29.6
窯業・土石製品	5,555	5,184	4,494	-5.7	-6.7	-13.3
鉄鋼業	7,750	7,487	5,534	-4.1	-3.4	-26.1
非鉄金属	5,613	5,249	3,984	5.2	-6.5	-24.1
加工型	108,741	100,716	87,562	11.8	-7.4	-13.1
食料品・飲料	11,630	11,477	10,840	-14.7	-1.3	-5.6
金属製品	5,192	4,340	3,588	4.4	-16.4	-17.3
一般機械	8,023	7,208	5,634	11.1	-10.2	-21.8
電気機械	38,144	33,104	30,316	13.8	-13.2	-8.4
自動車	17,585	18,660	15,300	29.0	6.1	-18.0
その他の輸送用機械	3,302	2,685	2,755	16.5	-18.7	2.6
精密機械	4,102	4,219	3,409	9.2	2.9	-19.2
その他の製造業	20,763	19,023	15,720	17.1	-8.4	-17.4
非製造業	291,792	274,911	242,566	-2.8	-5.8	-11.8
農林漁業	85	65	54	-7.5	-23.4	-16.8
鉱 業	1,004	1,167	944	-23.8	16.2	-19.1
建設業	6,780	4,978	3,691	-12.6	-26.6	-25.9
卸売業	12,077	9,970	6,816	-1.9	-17.4	-31.6
小売業,飲食店	18,287	17,838	14,190	-7.7	-2.5	-20.5
金融・保険業	21,088	17,448	14,520	3.2	-17.3	-16.8
不動産業	18,687	14,363	10,406	17.8	-23.1	-27.6
運輸業	28,367	26,820	22,038	0.8	-5.5	-17.8
通信業	34,731	32,818	29,625	8.9	-5.5	-9.7
電力・ガス業	49,753	50,655	49,998	-1.1	1.8	-1.3
サービス業(除くリース業)	27,792	26,633	21,280	-17.6	-4.2	-20.1
リース業	73,139	72,154	69,003	-6.9	-1.3	-4.4

第15図は別ページ

第16図 資本金規模別設備投資の伸び（前年度比）



(4) 四半期別動向（原数値）

四半期別の動向を前年同期比で見ると、平成10年10～12月（実績）の3.6%減の後、11年1～3月（実績見込み）は12.9%の減少となっている。

産業別にみると、製造業では10年10～12月の5.9%減の後、11年1～3月は16.4%の減少となっている。一方、非製造業では10年10～12月の2.4%減の後、11年1～3月は10.9%の減少となっている。

付表 企業経営者の判断と見通し (BSI) (季節調整系列)

(単位：%)

期 間	国内景	業 界 景 気	国内需	海外需	在庫水準		原材料 価格	製 品 格 価	売上高	経 常 利 益	生 産 設 備
					原材料	完成品					
元年 10 ~ 12月	28	19	18	-1	4	7	13	-3	23	15	-11
2年 1 ~ 3月	21	13	16	0	4	7	20	-1	22	11	-9
4 ~ 6月	10	8	11	-2	5	7	25	4	24	10	-9
7 ~ 9月	5	3	8	-4	4	6	28	7	23	10	-11
10 ~ 12月	-1	-3	5	-6	4	6	42	13	23	8	-12
3年 1 ~ 3月	-8	-8	-1	-17	5	6	24	7	16	7	-10
4 ~ 6月	-14	-13	-10	-20	7	12	11	-2	12	3	-6
7 ~ 9月	-23	-20	-20	-18	8	16	5	-7	8	-1	-4
10 ~ 12月	-49	-36	-41	-29	12	21	1	-10	-3	-6	4
4年 1 ~ 3月	-63	-48	-59	-37	13	27	-5	-20	-11	-15	9
4 ~ 6月	-56	-43	-50	-29	14	28	-2	-18	-13	-15	12
7 ~ 9月	-63	-48	-55	-28	14	28	-4	-17	-18	-15	17
10 ~ 12月	-50	-43	-47	-28	15	28	-9	-23	-20	-17	21
5年 1 ~ 3月	-48	-42	-46	-25	15	28	-11	-24	-19	-18	25
4 ~ 6月	-21	-25	-34	-25	12	24	-16	-23	-14	-12	24
7 ~ 9月	-39	-36	-44	-30	13	27	-21	-31	-21	-18	29
10 ~ 12月	-46	-38	-48	-29	14	28	-20	-34	-23	-18	32
6年 1 ~ 3月	-20	-23	-32	-15	13	26	-13	-27	-13	-10	32
4 ~ 6月	-8	-11	-8	-2	12	22	-7	-23	-4	-2	29
7 ~ 9月	16	3	10	7	9	17	0	-20	7	2	25
10 ~ 12月	23	7	13	10	8	16	7	-15	9	5	23
7年 1 ~ 3月	1	-3	7	9	7	12	9	-12	5	1	18
4 ~ 6月	-9	-12	-7	-6	9	16	2	-21	0	-2	19
7 ~ 9月	-8	-8	-8	-2	11	19	4	-19	0	-2	20
10 ~ 12月	4	-2	1	0	10	19	1	-16	4	-2	18
8年 1 ~ 3月	14	1	2	0	10	18	2	-17	7	4	16
4 ~ 6月	18	5	7	-1	10	17	6	-17	9	5	17
7 ~ 9月	9	-1	3	1	10	16	8	-13	7	6	15
10 ~ 12月	10	4	7	6	10	16	11	-10	11	8	13
9年 1 ~ 3月	8	1	10	9	10	15	15	-8	14	5	12
4 ~ 6月	-18	-17	-14	7	8	12	14	-11	-6	-6	10
7 ~ 9月	-4	-13	-9	2	9	15	8	-13	0	-1	11
10 ~ 12月	-46	-38	-37	-11	10	20	3	-18	-13	-11	14
10年 1 ~ 3月	-51	-44	-45	-23	13	25	-8	-26	-21	-18	18
4 ~ 6月	-57	-51	-54	-30	19	35	-30	-7	-34	-34	30
7 ~ 9月	-60	-52	-53	-34	21	35	-10	-36	-33	-35	35
10 ~ 12月	-39	-38	-35	-25	20	33	-20	-32	-30	-31	35
11年 1 ~ 3月	-27	-27	-25	-17	19	29	-17	-29	-18	-21	38
4 ~ 6月	-6	-12	-9	-9	14	22	-6	-21	-6	-8	34
7 ~ 9月	15	3	9	-1	8	12	1	-12	0	-1	30

(注) 国内景気、業界景気は全産業。

国内需要、海外需要、在庫水準、生産設備は製造業。

原材料価格、製品価格は製造業、農林漁業、鉱業。

売上高、経常利益は全産業(金融・保険業、不動産業を除く)。

第15図 産業別設備投資計画 (平成11年度)

